

ACOUSTIC



星の数ほど存在する楽器の中でも、アコースティックギターは最もシンプルな構造をした楽器の一つと言えるでしょう。木で造られたボディとネック、音程に合わせて指板に打られたフレット、そして6本の弦。メーカーにより、さまざまなスタイルが作られていても、何らこの基本構造は変わりません。それだけに、素材の選定やギターとして形作られてゆく上での技術が、音に大きく影響してくるのです。指先で弾かれた弦が表面板を振動させ裏板や側板と共鳴して生み出される、こよなく単純なその響きに、心くすぐられる感性と音に対するこだわりをいつまでも大切にしたいと考えています。

Takamine



TSA SERIES

サンタフェシリーズやバラスティック500シリーズに採用されたこのボディスタイルは、エレアコでありながらドレッドノートスタイルに匹敵する生鳴りのボリューム感で高い評価を頂きました。エレアコだけではなく、純粋なアコースティックギターとして発売をして欲しいとプロ・アーティストをはじめ、多くの方から要望が寄せられ登場したこのTSAシリーズに、今回、より生鳴りを重視しマイナーチェンジしたノンカットウェイ、オールソリッドボディ材のTSA-10とTSA-500には新たにタバコブラウンサンバーストカラーをラインナップしました。



TSA-500 ¥50,000
TOP = SOLID SPRUCE
BACK & SIDE = MAHOGANY
NECK = MAHOGANY
FINGERBOARD = ROSEWOOD



TSA-500TBS ¥50,000
TOP = SOLID SPRUCE
BACK & SIDE = MAHOGANY
NECK = MAHOGANY
FINGERBOARD = ROSEWOOD



TSA-10 ¥100,000
TOP = SOLID SPRUCE
BACK & SIDE = SOLID ROSEWOOD
NECK = MAHOGANY
FINGERBOARD = ROSEWOOD